

インフルエンザ流行拡大に関する注意喚起（再度） 及びインフルエンザ様疾患発生報告について（第30報）

平成29年第3週(1月16日～1月22日)における、県内のインフルエンザの定点医療機関当たりの報告数が「**17.56人**」となり、4週ぶりに再度注意報レベルの目安としている10人を超えました。

引き続き感染予防及び感染拡大防止のため、手洗い・うがい、せきエチケットなど、個人でできる予防対策の徹底をお願いします。

また、インフルエンザ様疾患の集団発生により措置を行った旨の報告がありましたので、併せてお知らせします。

1. インフルエンザ流行状況

● 定点医療機関あたりの患者報告数（感染症発生動向調査）

週	51週 12/19～12/25	52週 12/26～1/1	1週 1/2～1/8	2週 1/9～1/15	3週 1/16～1/22
富山県	<u>14.31</u>	8.96	7.06	9.98	<u>17.56</u>
全国	8.38	8.54	10.58	15.25	(1/27公表予定)

※ 定点医療機関数 富山県：48医療機関、全国：約5,000医療機関

● 厚生センター・保健所管内別定点医療機関当たり報告数（平成29年第3週）

新川	中部	高岡	砺波	富山市
25.14	12.00	18.77	19.00	14.38

【参考】

国立感染症研究所は、インフルエンザの流行状況の指標として、下記のとおり、全国共通の基準値を設定しています。

○ **注意報**：1週間の定点医療機関当たりインフルエンザ患者報告数が10人以上
→ 今後大きな流行が発生する可能性がある

○ **警報**：1週間の定点医療機関当たりインフルエンザ患者報告数が30人以上
→ 大きな流行が発生または継続しつつあることが疑われる

2. インフルエンザウイルス検出状況

- ・ 県内では **AH3 亜型（A香港型）** が 53 件 検出されています。
- ・ 全国では **AH3 亜型の検出数が 1,235 件** と最も多く、次いで AH1pdm09 や B 型 も 検出されています。

	AH3 亜型	AH1pdm09	B 型	備考
富山県	53 件	2 件	0 件	2016 年第 36 週～2017 年第 2 週 ※2016 年 1 月 18 日現在
全国	1,235 件	91 件	46 件	2016 年第 36 週～2017 年第 2 週 ※2016 年 1 月 20 日現在報告数

3. インフルエンザ様疾患の集団発生による措置状況

●学級閉鎖等の措置をとった施設

整理番号 *1	名 称	所在地	生徒数 *2	患者数 *3	うち欠席者 数	措置 (学年、学級)	期間
1-2	入善町立入善小学校	下新川郡入善町入膳	25	9	9	学級閉鎖 5年生1クラス	1/25-27
18	高岡市立二塚小学校	高岡市二塚	34	15	12	学年閉鎖 4年生	1/24-25
			28	10	8	学年閉鎖 5年生	1/24-25
7-2	高岡市立福岡小学校	高岡市福岡町大野	34	20	20	学級閉鎖 2年生1クラス	1/25-26
※第29報(1/23)整理番号7と併せて、2年生は1/25に学年閉鎖となります。(学年閉鎖として計上します。)							
19	高岡市立下関小学校	高岡市東上関	27	10	9	学級閉鎖 3年生1クラス	1/25-26
20	高岡市立高陵中学校	高岡市高陵町	99	26	24	学年閉鎖 1年生	1/25-27
			106	29	28	学年閉鎖 2年生	1/25-27
21	あおい幼稚園	射水市戸破西楠町	20	9	9	学年閉鎖 年長組	1/24-26
22	氷見市立海峰小学校	氷見市阿尾	16	11	8	学年閉鎖 3年生	1/25-26
23	砺波市立出町小学校	砺波市深江	34	10	10	学級閉鎖 4年生1クラス	1/25-27
24	富山市立蟻川小学校	富山市赤田	28	9	9	学級閉鎖 2年生1クラス	1/25-27
計			451	158	146		

●本日の措置施設数 (学年閉鎖と学級閉鎖の措置を併せてとった施設は「学年閉鎖施設」に計上します。)

	保育所・幼稚園	小学校	中学校	その他	計
休校					
学年閉鎖	1	3	1		5
学級閉鎖		4			4
計	1	7	1		9

●本県の今シーズンの集団発生状況 (臨時休業等の措置をとった施設の累積数；今回発表分を含む)

施設数	施設数内訳				措置内訳			生徒数	患者数	うち 欠席者数
	保育所 幼稚園	小学校	中学校	その他	休校	学年閉鎖	学級閉鎖			
76	7	51	16	2	1	39	36	4,268	1,748	1,373

※「インフルエンザ施設別発生状況に係る調査実施要領(平成21年5月22日付け健感発第0522003号)」に基づき、上記3.の※印は、前報(第29報)から学級閉鎖数を1減及び学年閉鎖数を1増として取り扱います。

4. 予防のポイント～感染予防の徹底、感染拡大防止のお願い～

- うがいと手洗いを徹底しましょう。
- 十分な睡眠やバランスの良い食生活など、健康的な生活を心がけましょう。
- 家族や周りの人にうつさないために、せきエチケットを徹底しましょう。
 - ・せきやくしゃみがでそうなときは、ティッシュ等で鼻と口を覆い、周りの人から顔をそらしましょう。
 - ・せきやくしゃみが続くときはマスクを着用しましょう。
- 急な発熱やせき等の症状がある場合は早めに医療機関を受診しましょう。
- 乳幼児やお年寄り、妊娠中の方、基礎疾患(呼吸器疾患、慢性心疾患など)をお持ちの方は特に注意が必要です。日頃からかかりつけの医師と相談しておきましょう。
- インフルエンザにかかったら、無理をせず、登園や登校、出勤をひかえるようにしましょう。

※ 報道機関の皆様には、インフルエンザの予防及び感染拡大防止のため、県民の方々に対する注意喚起に格段の御協力をお願いいたします。

○インフルエンザに関する情報については下記のホームページをご覧ください。

- ・国立感染症研究所 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/diseases/a/flu.html>
- ・富山県感染症情報センター <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/inful/inful1.htm>